



## Halloween Pumpkins and Costumes Catrina Caira

My favorite holiday is Halloween. Halloween is on October 31st, the day after my birthday. When I was a baby, my family called me “pumpkin” because of when my birthday was. We always got to decorate our own pumpkins for Halloween. When we were very small, I would paint them or decorate them with stickers. When we got older, our parents would help us carve our pumpkins. We had special dull knives so we would not hurt ourselves while (※) carving our pumpkin. We loved taking the seeds and guts out of the pumpkin with our hands, though the final cleaning had to be done with a spoon. Once the inside of the pumpkin was empty, we would carve a face on our pumpkin. Then, we would put a small candle inside to light up the face. There are pumpkins lighting the porches of all the houses on Halloween. When I was one year old, I got to wear my first Halloween costume. I was a pumpkin.

### 【ちょっと豆知識】宮地晶子

文中にcarveという言葉がでてきましたね。carve a flower from the ice (氷から花を彫る) というように「彫る」、また表面を削るという意味があります。また感謝祭の七面鳥を切り分けるときにもcarve the turkeyと言います。それ専用のナイフがcarving knifeですね。そして七面鳥をさばくのは、たいてい一家の長と決まっています。

My favorite part of Halloween is the costumes. When I was little, I would spend weeks deciding on a costume. My costume had to be able to fit over a snowsuit since it often snowed at the end of October back then. I always had to have just the right costume. We would wear our costumes to school every year. The school had a big costume parade around town with all the other schools so we could show off our costumes. When I was 15 I started learning how to make my own costumes, and it is still my favorite part of Halloween.

## ハロウィーンパンプキンとコスチューム カトリーナ・カイラ

私のお気に入りの祝日は、ハロウィーン。ハロウィーンは10月31日で、誕生日の次の日なのです。だから赤ちゃんのころ、家族は私を「パンプキン（かぼちゃ）」と呼んでいました。ハロウィーンには、いつも自分たちのかぼちゃを飾ったものです。幼いころは、色を塗ったり、シールを貼ったりしました。少し大きくなると、両親に手伝ってもらって、けがをしないように、尖っていない専用のナイフで(※)カービングしました。手で中の種や綿を取るのが大好きで、最後はスプーンできれいにします。それから顔の部分を彫ります。そして、中に小さなろうそくを入れて、明かりをとめます。どの家でもポーチには、かぼちゃランタンがとんでいたものです。1歳の時には、初めてハロウィーンの衣装を身につけました。かぼちゃのコスチュームです。

ハロウィーンで特に好きなのが、このコスチューム。小さい時は、どれにするか決めるのに何週間もかかりました。当時、10月の末でも雪が降ることがあったので、スノースーツの上から着ることができればなりません。いつもピッタリのが欲しかったのです。毎年、学校へも仮装して行きました。他の学校も一緒になって、町中をパレードして、見せびらかすのです。15歳からは、教わって自分で作るようになりました。いまだに衣装作りがハロウィーンが一番楽しいところです。(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

## エイゴノマナビカタ

第111回

## 通訳マニュアル

通訳をしていると「通訳を雇う人用マニュアルがあったらいいのにな」と思うことがあります。こんな人たちに会おうからです。

1、私の目を見つめ続けて話す人＝目をそらすことができないのでメモが取れません。あなたの目を見つめ返ししながら、もう一人の人にその真意を伝えるのは至難の業。あなたが男前なら、なおさらです。私のことはどうか忘れて話し相手を見つけてください。

2、ニコニコとして「通訳して」と言って黙っている方。残念ながらそれは無理。何か言ってくれたら頑張って訳しますけれど。

3、何度も同じことを言う。これを訳さないと私が疑われます。だから表現を変えながら、できるだけ同じ量の英語を話すようにしています。でも、これにも限界があります。

4、駄じゃれ。駄じゃれを言うほどリラックスしているので雰囲気は最高。でも通訳泣かせです。日本人だけがみんな笑っている、なんて国際問題に発展するかも。

5、「英語は話せないから」と言いながら英語で話し続け、かつその後「今の通訳して」とおっしゃる方。恐怖です。最後に、私、極度に集中するためか話の中身はほとんど覚えておりません。どうかご自分で覚えておいてください。